

 取組概要

- 防災部局と男女共同参画部局が連携し、全職員を対象に、男女共同参画の視点からの避難所運営に関する動画研修を実施
- 防災会議の委員構成を変更することで、女性委員の割合を10%台→46%まで向上


**取組のきっかけ 『女性参画や会議運営等でNo.1の防災会議にしたい！』**

内閣府男女共同参画局のガイドラインが公表された直後に市議会でも取り上げられ、防災における男女共同参画の視点や女性の参画を当たり前にしようとする動きが堺市全体にあった。

危機管理室と男女共同参画部局(男女共同参画推進課・男女共同参画センター コクリコさかい)でガイドラインを勉強し、共通認識を深めた。



市職員研修と防災会議の両面から防災分野への女性の参画を促進するために、部局の垣根を越え、危機管理室と男女共同参画部局で連携して取り組むことに。

- 災害時には全庁的に災害対応に取り組む必要があることを踏まえ、男女共同参画の視点に立った防災の意識を高めるための職員研修を実施し、全職員に意識の浸透を図ることを目指そう！
- 防災会議の委員構成を抜本的に見直し、女性の参画を進め、多様な意見を取り入れることで、政令指定都市でNo.1の防災会議を目指そう！



# 1 防災研修を工夫して、全職員に男女共同参画の視点からの防災意識を浸透！

## 全職員対象の防災研修

1. 毎年1回、危機管理室が実施していた全職員対象の防災研修のテーマの1つに「男女共同参画の視点からの防災」を追加し、男女共同参画部局と連携して発信した

さらにいいこと！



危機管理室と男女共同参画部局で連携して取り組む姿を見せることで、防災は防災部局だけでやるものでなく、自分事として捉えられるようになった！



2. 災害時には、性別、年代、個々の事情が異なる中で、全員が災害対応に取り組むことになるため、全職員が男女共同参画の視点からの災害対応について学ぶ必要があることを伝えた

こんないいことがあった！



災害時、全庁的に男女共同参画の視点に立った災害対応に取り組む必要性を全職員の共通理解にできた！



グループや個人で学習！

3. より多くの職員に防災を学んでもらうため、コロナウイルス感染症防止も踏まえて、動画教材を作成し、オンラインで研修を実施した

こんないいことがあった！



何度も繰り返し講義の録画を確認できるようになり、より多くの職員が手軽に学べるようになった！

業務中に短時間で！



## 市民対象の男女共同参画研修

4. 男女共同参画センターでは、市民を対象に、男女共同参画の視点で考える防災連続講座を実施している

こんないいことがあった！



市民が学ぶ場に職員も参加し、市民と一緒に学ぶ機会になっている！



## 2 防災会議の委員構成を見直し、女性比率10%台→46%までUP!

### 委員構成の見直し

- 職員の委員数を削減し、**障害者、高齢者、女性、LGBT、外国人等の支援団体**の登用数を増やした
  - 災害時に特に被害を受ける人たちに寄り添った活動をしている団体**を中心に参画を呼びかけた

こんないいことがあった!



- どのような団体に声をかけるかについては、**男女共同参画部局の現所管課長だけでなく、前所管課長にも相談する等して様々なつながりから情報提供**を受けた
  - 団体に依頼する際には、**団体に何度も出向き、代表者や事務局に直接会って説明**した

こんないいことがあった!



### 防災会議の工夫

- 既存の委員に対しても、**どのような趣旨で新たな委員に参画してもらうのかを丁寧に説明**し、理解を促した

こんないいことがあった!



- 書面会議**で意見が出しやすくなる工夫をすることで、新たに参画した委員を含めて多くの意見が出された
  - 提出された**全ての意見に対して回答**し、コミュニケーションを図った

こんないいことがあった!



構成団体を抜本的に変えたことで、**女性の委員の人数が増えた!**

単に女性比率を上げるだけでなく、**当事者視点の多様な意見を吸い上げられるようになった!**

委員構成	合計	男性	女性
(1) 指定地方行政機関の職員	5人	5人	0人
(2) 自衛隊の部隊長	2人	2人	0人
(3) 大阪府の職員	4人	4人	0人
(4) 大阪府の警察官	1人	1人	0人
(5) 堺市職員	18人	16人	2人
(6) 教育長	1人	1人	0人
(7) 消防長・消防団長	2人	2人	0人
(8) 指定(地方)公共機関の職員	11人	9人	2人
(9) 自主防災組織・学識経験者	3人	1人	2人
(10) 市長が適当と認める者	9人	8人	1人
合計	56人	49人	7人

令和3年7月  
改選

合計	男性	女性	女性 委員 比率
5人	5人	0人	12.5%
2人	2人	0人	↓
4人	4人	0人	46.7%
1人	0人	1人	+ 多様な 主体
10人	5人	5人	
1人	1人	0人	
2人	2人	0人	
12人	6人	6人	
4人	1人	3人	
19人	6人	13人	
60人	32人	28人	

候補団体に丁寧に説明することで、**委員になってもらった!**

多くの委員は、**防災に興味があり、問題意識を持っていた!**

**安心して参加や発信ができる環境づくり**を心がけることで、委員から多様な意見が出て、会議が活性化した!

**委員から提出された全ての意見に丁寧に**対応し、多様な視点から地域防災計画を見直すことができた!